

3-3

看取りの取り組みについて

『看取り』をどのように捉え取り組んでいくのか

家族・施設共有

チームアプローチ

特別養護老人ホーム かんだ連雀

発表者：相談員 峯 俊美

所在地：東京都千代田区神田淡路町 2-8-1

TEL：03-3252-8815

E-mail：renjaku@tama-dhk.or.jp

FAX：03-3252-8816

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人多摩同胞会、特別養護老人ホームかんだ連雀は、平成16年4月に開設し、デイサービス・地域包括支援センター・ショートステイ等も同時に開設いたしました。神田という土地柄もあって、地域との交流も深く活気のある施設です

〈取り組んだ課題〉

- 看取りとは？
- 看取りにおける職員の意識統一と家族の想い
- ドクター・看護・介護の連携

〈具体的な取り組み〉

- 施設で行なう看取りの考え方を、事例をあげて話し合う。
 - ・施設全体で研修及び討論会
- 実際の看取りの上で、個別としてどのような取り組みを行なうか相談員・看護・介護・(家族)・調理で話し合う
 - ・具体的援助内容の模索
 - ・家族と共有した取り組み
 - ・居室変更
- 状態の変化毎に確認(話し合い)
- 倫理的配慮に関しては、調査の目的とプライバシーの遵守を依頼時に口頭で約束している。

〈活動の成果と評価〉

- その都度話し合いを行なうことで、スタッフが統一した援助を行なうことが出来た
- 各部署の、その方に対する想い(看護・介護・調理・相談員)を出し合い話し合う事で、より個別としての看取りの援助内容が明確化された

〈今後の課題〉

- 更に家族との連携を密にする事で、より家族と一緒に
行なう看取りを検討していきたい

〈参考資料など〉

【メモ欄】